



イングランド南東部 ニューヘヴン ごみ焼却発電施設
(ごみ処理能力696t/日 発電能力19.3MW)

日立造船株式会社

2012年度 第2四半期 決算説明会

Hitz
Hitachi Zosen

平成24年11月2日

Hitz日立造船株式会社

取締役会長兼社長 古川実

1. 2012年度第2四半期連結決算概況
2. 2012年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 中期経営計画「Hitz Vision」の進捗状況

1. 2012年度第2四半期 連結決算概況

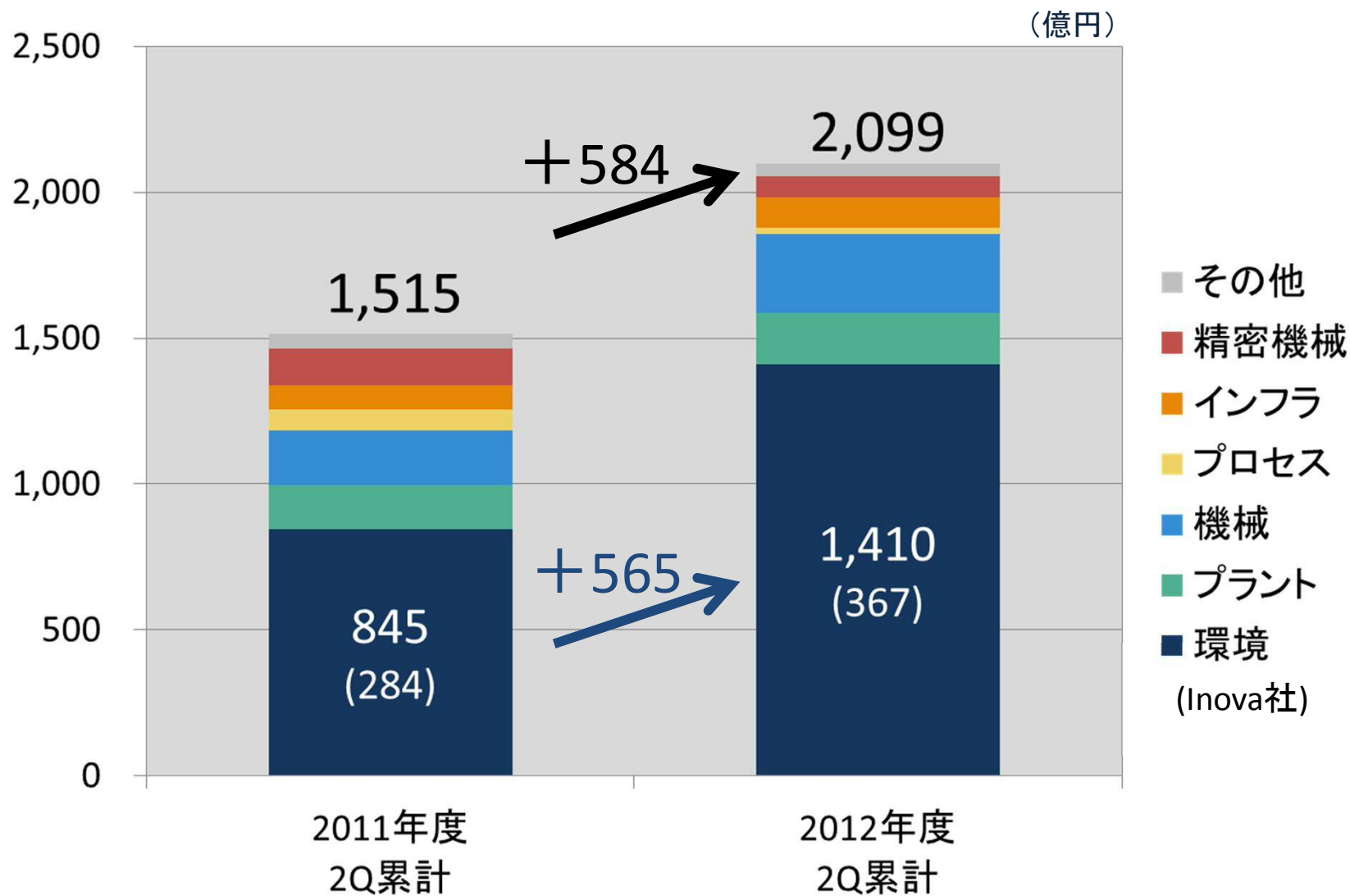
- 受注高・売上高および
営業利益・経常利益が前年同期から増加
- 環境部門の受注が順調に拡大
→「環境の日立造船」の姿が鮮明に

2012年度2Q決算 実績サマリー

(億円)

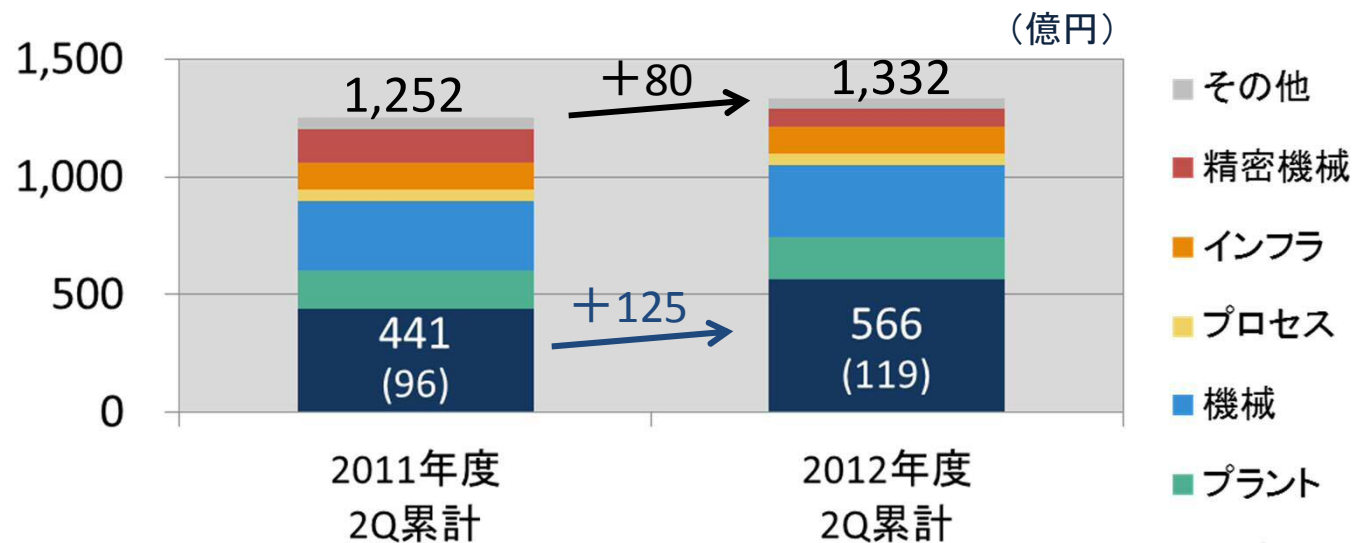
	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	比較
受注高	1,515	2,099	584
売上高	1,252	1,332	80
営業利益	16	18	2
(営業利益率)	1.3%	1.4%	0.1%
営業外損益	▲1	2	3
経常利益	15	20	5
(経常利益率)	1.3%	1.5%	0.2%
特別損益	5	▲8	▲13
税金費用・ 少数株主利益	▲4	▲4	0
四半期純利益	16	8	▲8
(四半期純利益率)	1.3%	0.6%	▲0.7%

2012年度2Q決算 受注高

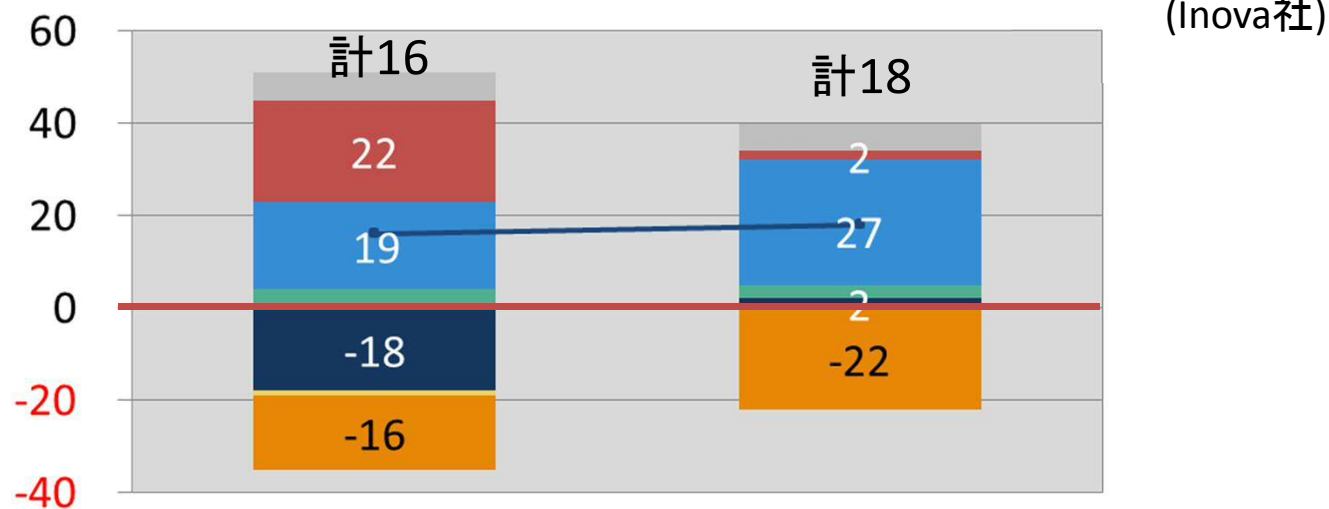


2012年度2Q決算 売上高と営業利益

■売上高



■営業利益



2012年度2Q決算 セグメント別

		環 境	プ ラ ン ト	機 械	機 器 プ ロ セ ス	イ ン フ ラ	精 密 機 械	そ の 他	計
2012年度 2Q累計	受注高	1,410	177	271	20	104	74	43	2,099
	売上高	566	179	304	50	112	78	43	1,332
	営業利益	2	3	27	0	▲22	2	6	18
2011年度 2Q累計	受注高	845	150	188	73	81	127	51	1,515
	売上高	441	159	299	44	118	142	49	1,252
	営業利益	▲18	4	19	▲1	▲16	22	6	16
比較	受注高	565	27	83	▲53	23	▲53	▲8	584
	売上高	125	20	5	6	▲6	▲64	▲6	80
	営業利益	20	▲1	8	1	▲6	▲20	0	2

2012年度2Q決算 営業損益増減内訳

(億円)

2011年度2Q 営業損益		16
増減内訳	売上高増(80億円)	13
	開発費増	▲3
	精密機械部門の利益率低下	▲11
	インフラ部門の利益率低下	▲5
	コストダウン等	8
2012年度2Q 営業損益		18

2012年度2Q決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	比較
金 利 負 担 額	▲7	▲6	1
受 取 配 当 金	1	1	0
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	14	9	▲5
そ の 他 営 業 外 損 益	▲9	▲2	7
営業外損益 計	▲1	2	3

特別利益	訴訟損失引当金 戻 入 益	5		▲5
特別損失	厚生年金基金 脱 退 拠 出 金		▲8	▲8
特別損益 合計		5	▲8	▲13

2012年度2Q決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	77	81	4
	投資活動によるキャッシュフロー	▲30	▲34	▲4
	財務活動によるキャッシュフロー	▲143	▲194	▲51
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲88	(注1) ▲146	▲58
	現金・現金同等物の期首残高	559	666	107
	現金・現金同等物の期末残高	471	(注2) 521	50

(注1)為替換算差額含む(2011年度2Q:+8、2012年度2Q:+1)

(注2)その他増加減少額含む

(億円)

項 目		2012年 3月末	2012年 9月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注3) 925	(注3) 800	▲125
	社 債	151	100	▲51
	合 計	1,076	900	▲176

(注3)リース債務を含む。

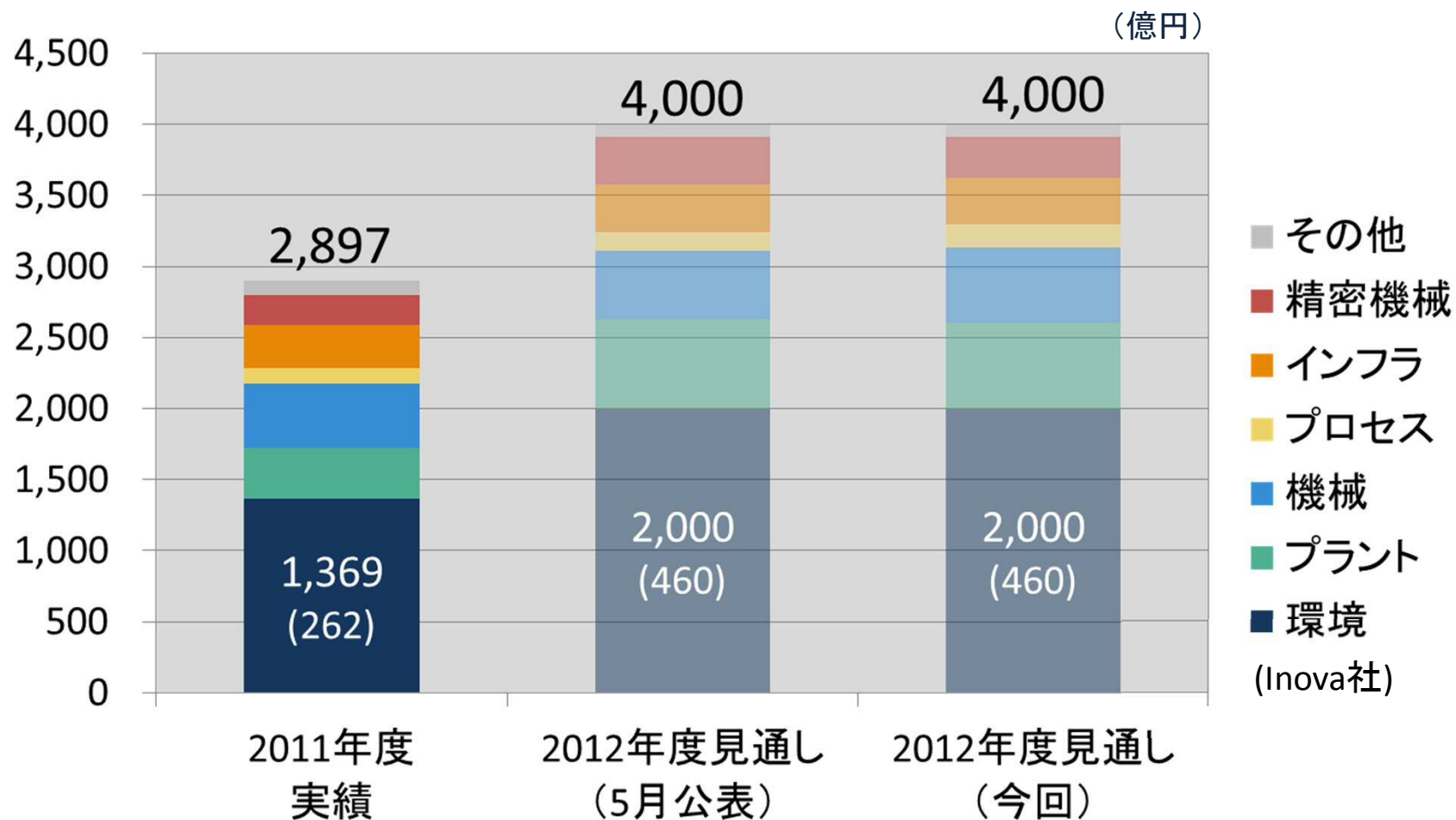
2. 2012年度業績見通し

2012年度見通し サマリー

(億円)

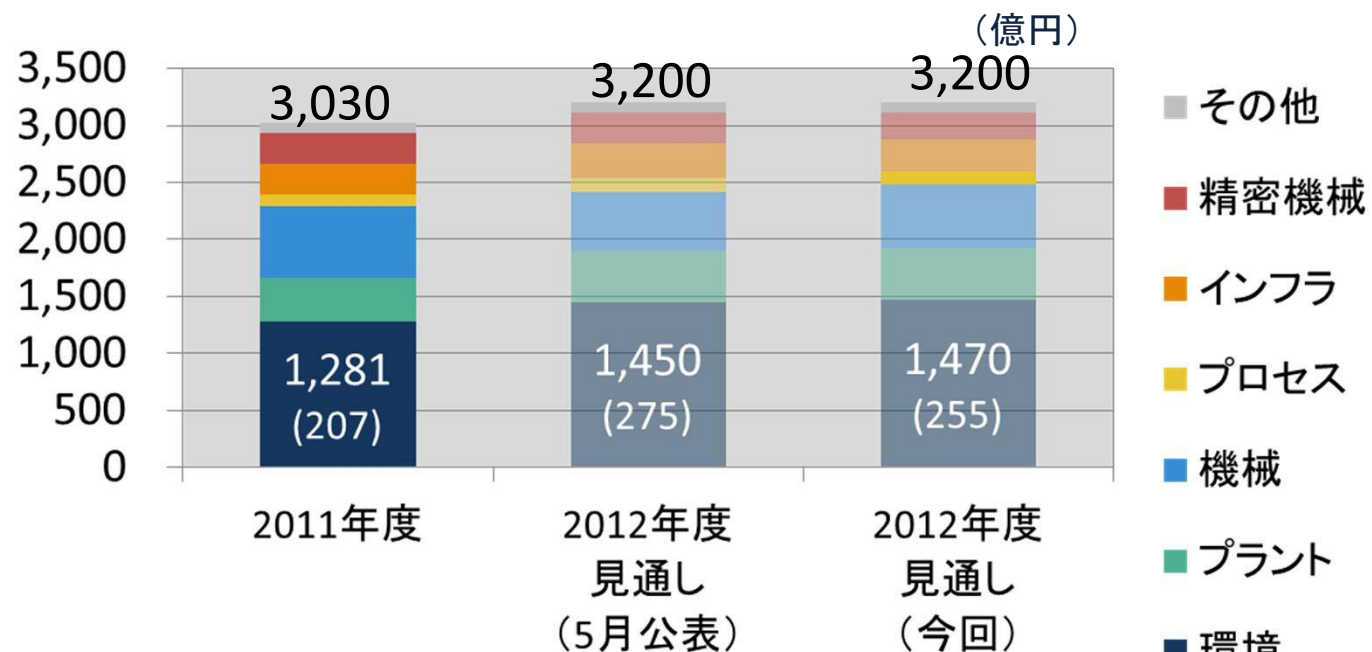
	2011年度 実績	2012年度見通し		比較 今回・前年度
		(5月公表)	(今回)	
受注高	2,897	4,000	4,000	1,103
売上高	3,030	3,200	3,200	170
営業利益	113	128	128	15
(営業利益率)	3.7%	4.0%	4.0%	0.3%
経常利益	107	110	110	3
(経常利益率)	3.5%	3.4%	3.4%	▲0.1%
当期純利益	93	90	90	▲3
(当期純利益率)	3.1%	2.8%	2.8%	▲0.3%

2012年度見通し 受注高

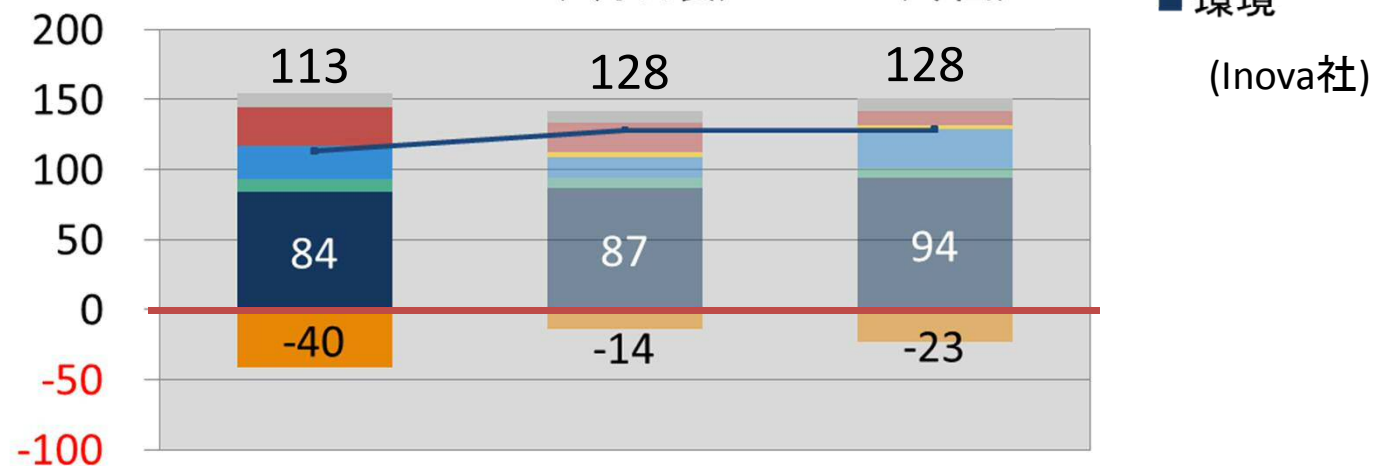


2012年度見通し 売上高と営業利益

■売上高



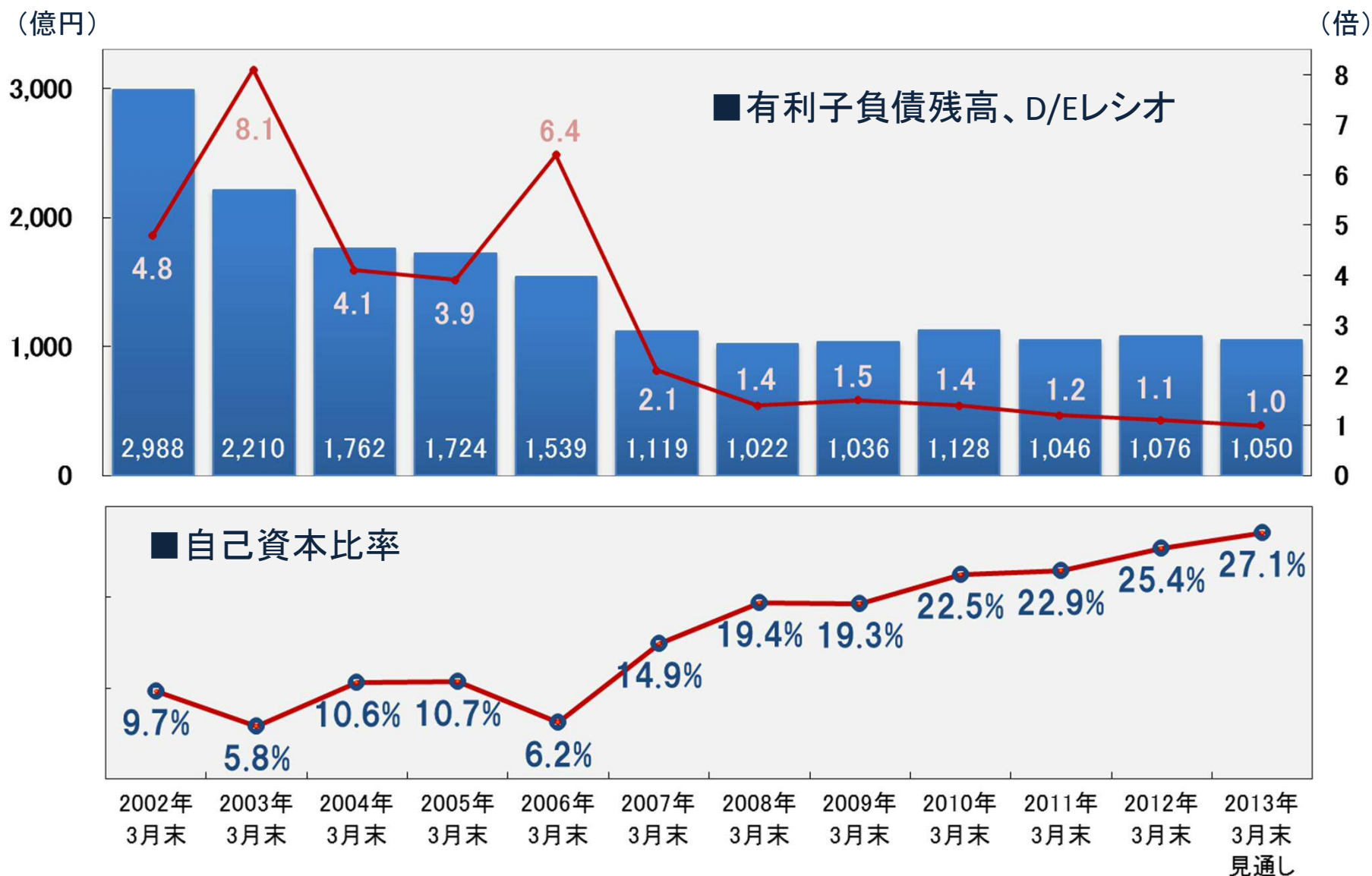
■営業利益



2012年度見通し セグメント別

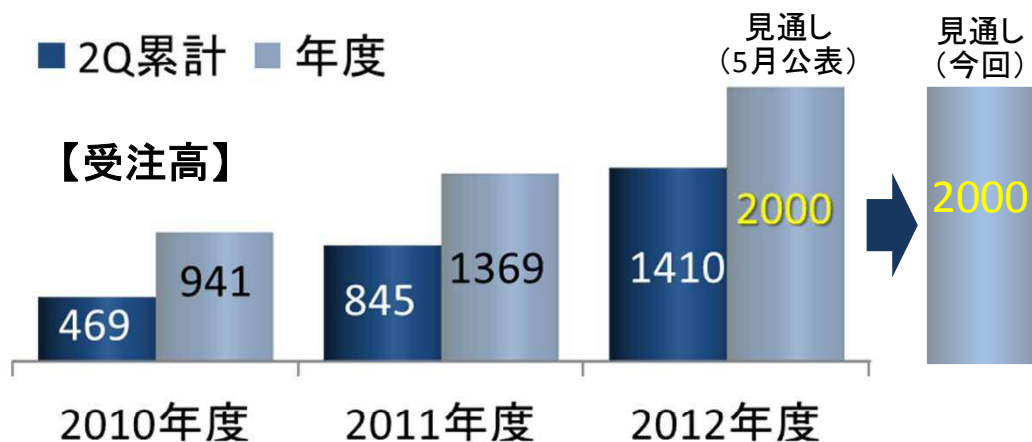
		環境	プラント	機械	プロセス 機器	インフラ	精密機械	その他	計	
2012年度 見通し	今回	受注高	2,000	600	530	170	320	290	90	4,000
		売上高	1,470	450	560	115	285	230	90	3,200
		営業利益	94	7	28	3	▲23	10	9	128
	5月公表	受注高	2,000	630	480	130	340	330	90	4,000
		売上高	1,450	450	520	125	295	270	90	3,200
		営業利益	87	7	15	3	▲14	21	9	128
2011年度 実績	受注高	1,369	355	450	113	300	211	99	2,897	
	売上高	1,281	379	629	102	275	265	99	3,030	
	営業利益	84	9	24	▲1	▲40	27	10	113	

有利子負債残高、自己資本比率の推移



3. セグメント別詳細

環境部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)
565億円増加の1,410億円
・ごみ焼却炉建設工事および長期運営工事の受注増

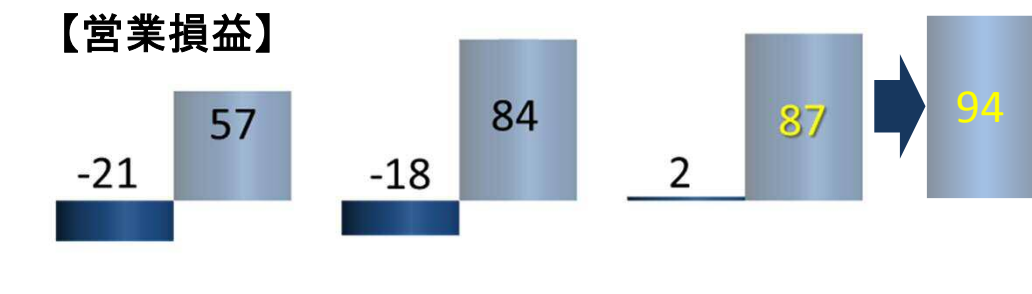
■ 年間見通し(5月公表比)
・5月公表から変化なし。
・2Q実績で70%の進捗



【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)
売上高: 125億円増加の566億円
・ごみ焼却炉建設工事の進捗が進む

営業損益: 20億円増加の2億円
・売上高増加による



■ 年間見通し(5月公表比)
・売上高・営業利益ともに、ごみ焼却施設建設工事及びアフターサービス等の増加により増加
・2Qの売上高・営業利益の進捗度は前年度より順調。

プラント部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

27億円増加の177億円

・昨年震災により茨城工場が停止

■ 年間見通し(5月公表比)

▲30億円減少の600億円

・化学プラントの大口径案件の時期ズレ

・下期に造水大口径案件

(億円)



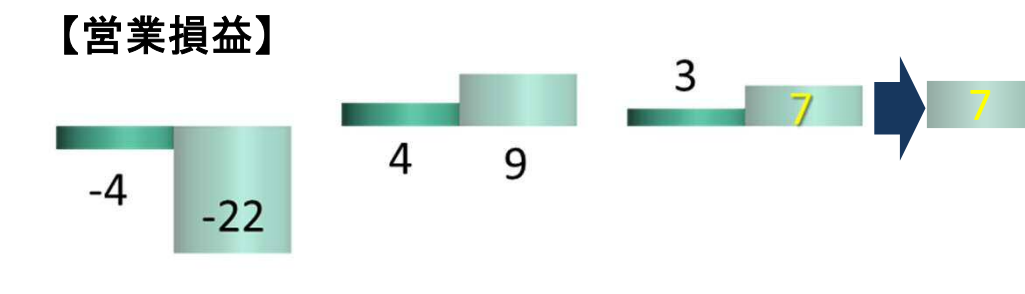
【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: 20億円増加の179億円

・昨年震災により茨城工場が停止

営業損益: ▲1億円減少の3億円



■ 年間見通し(5月公表比)

・売上高・営業利益ともに変化なし

機械部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

83億円増加の271億円

・自動車業界向けプレス機械の好調

■ 年間見通し(5月公表比)

50億円増加の530億円

(億円)



【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: 5億円増加の304億円

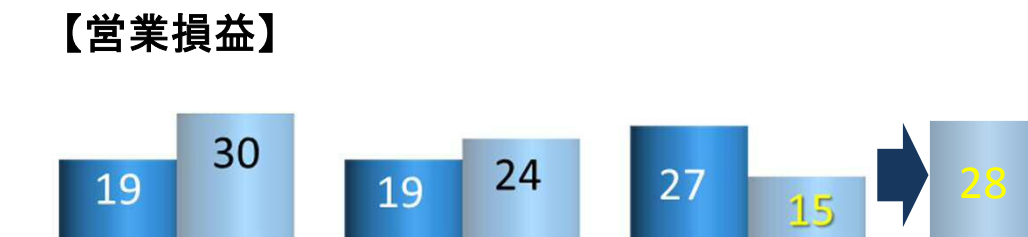
・自動車業界向けプレス機械の好調

営業損益: 8億円増加の27億円

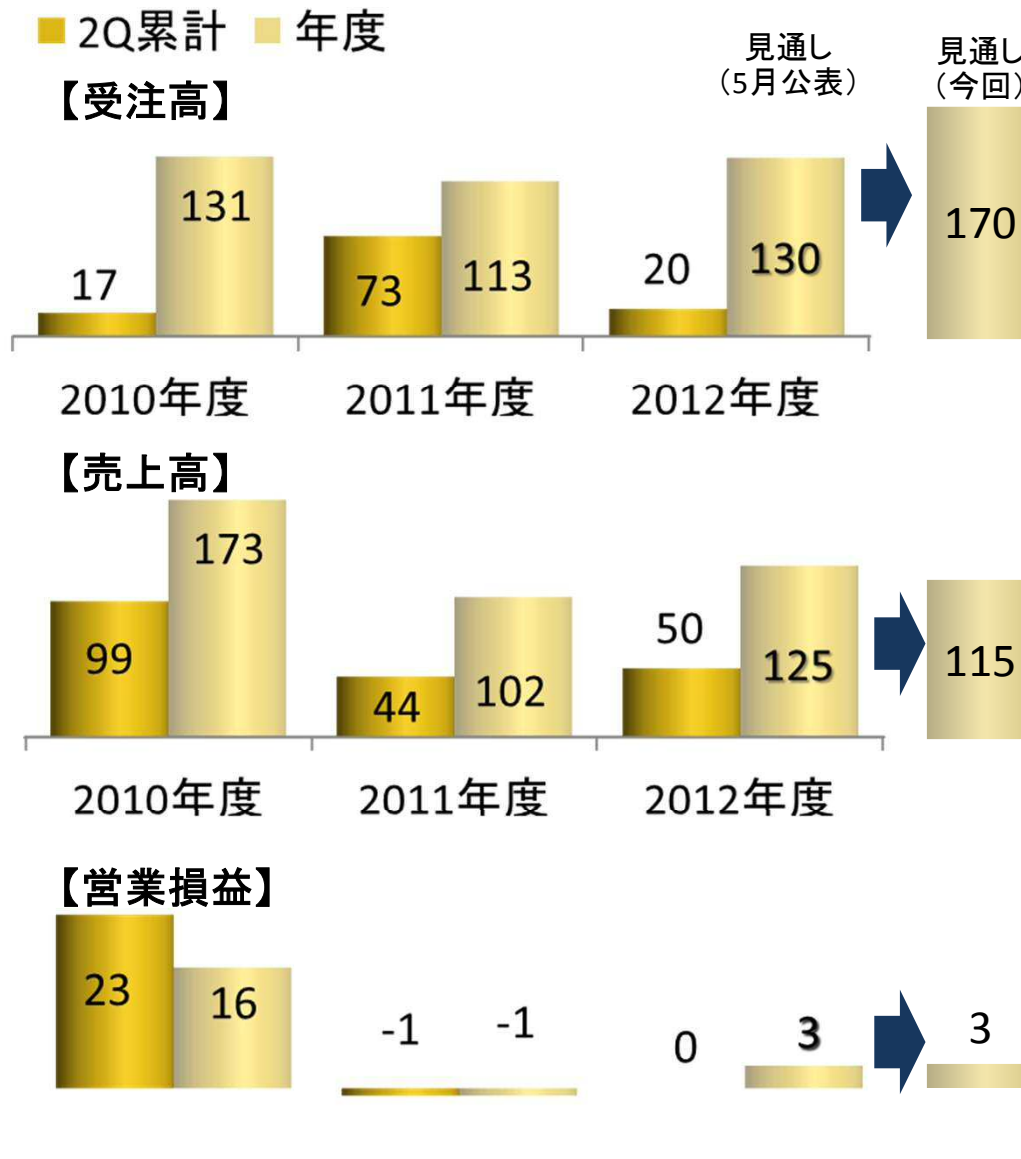
■ 年間見通し(5月公表比)

売上高: 40億円増加の560億円

営業損益: 13億円増加の28億円



プロセス機器部門



(億円)

【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

▲53億円減少の20億円

- ・原子力発電所向けキャスク・キャニスタの大口案件の期ズレ

■ 年間見通し(5月公表比)

40億円増加の170億円

- ・リアクターの大口案件を3Q受注済。

【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: 6億円増加の50億円

- ・キャスク・キャニスタの増加

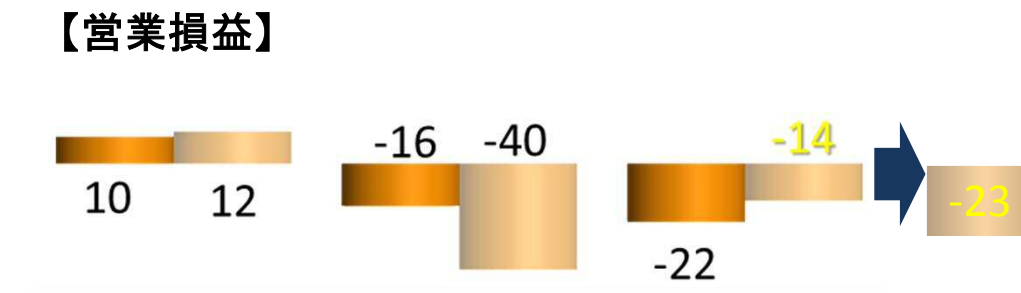
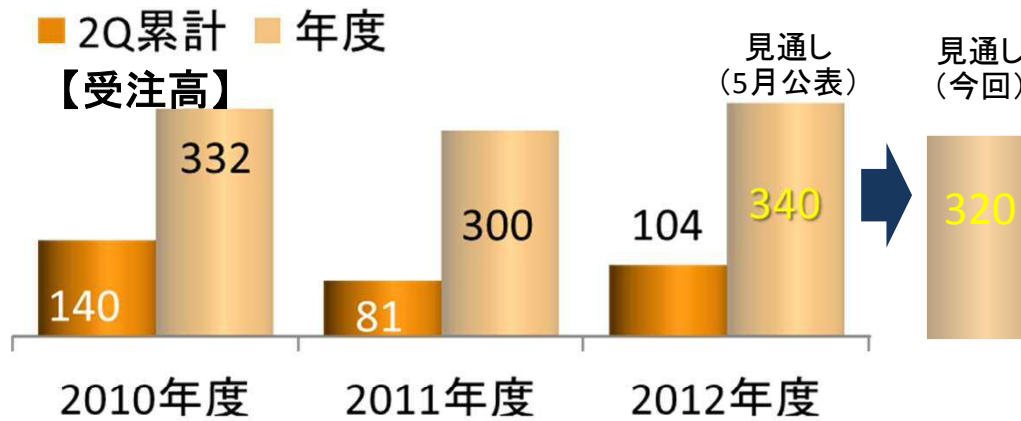
営業損益: 黒字化

■ 年間見通し(5月公表比)

- ・リアクターおよびキャスク・キャニスタの売上時期ズレにより、売上高減少。

- ・営業利益は変化なし。

インフラ部門



(億円)

【受注高】

- 2Q実績(前年2Q比)
23億円増加の104億円
 - ・水門工事受注
 - ・GPS連続観測システム工事受注
- 年間見通し(5月公表比)
▲20億円減少の320億円
 - ・受注の後ろ倒し

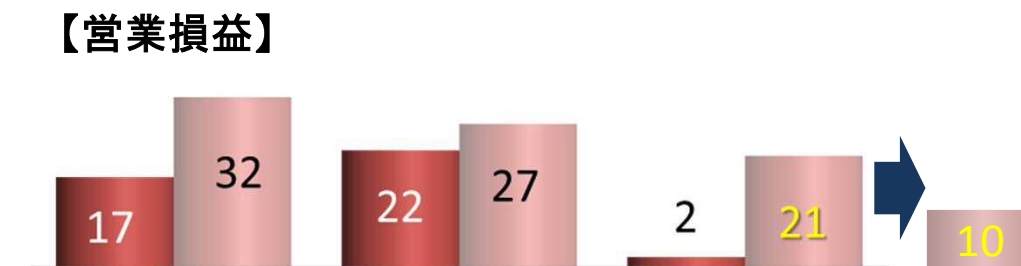
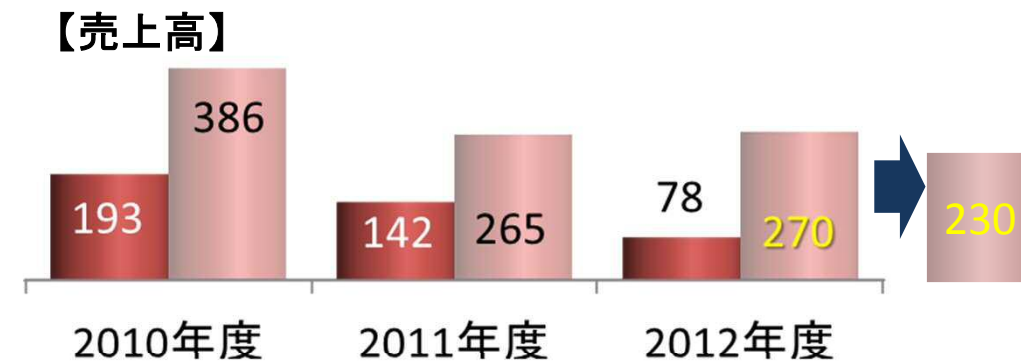
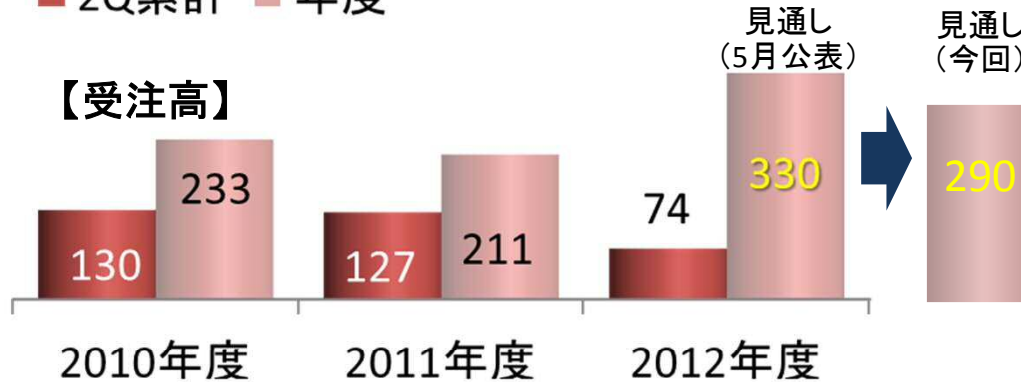
【売上高/営業損益】

- 2Q実績(前年2Q比)
売上高: ▲6億円減少の112億円
- 営業損益: ▲6億円減少の▲22億円
 - ・厳しい受注採算、コストダウン未達
- 年間見通し(5月公表比)
・受注時期が後ろ倒し
売上高・営業利益ともに減少

精密機械部門

(億円)

■ 2Q累計 ■ 年度



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

▲53億円減少の74億円

- ・マーケットの低迷
- ・大口受注案件の下期ズレ

■ 年間見通し(5月公表比)

・マーケットの低迷により、減少見通し

【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: ▲64億円減少の78億円

- ・大口プロジェクトが去年2Qに完工

営業損益: ▲20億円減少の2億円

■ 年間見通し(5月公表比)

・受注の減少により、売上高・営業損益ともに減少の見通し

4. 中期経営計画「Hitz Vision」 の進捗状況

中期経営計画「Hitz Vision」重点施策

事業の イノベーション	◆ 伸長分野の明確化		事業ドメインと事業マーケットの明確化
	◆ 事業伸長力の強化	◆ 海外事業展開力	事業企画本部の新設 海外拠点の拡充・整備
		◆ ソリューション提案力	顧客視点活動の推進 新開発体制への移行
	◆ 基礎的収益力向上		バランス経営の推進
	◆ 各事業NO.1収益力		事業戦略のPDCAの徹底
経営管理の イノベーション	◆ 経営体制	フラット・マトリックス経営体制の推進	
	◆ 財務体質	2013年度までに自己資本比率30% 外部格付けの向上	
	◆ 将来収益につながる開発	新研究開発体制(開発本部) 事業企画本部と開発本部の連携	
	◆ 風土改革と人材育成	外向きで成長志向かつ業務の効率を重視する 企業風土の確立 業務・事業に主体的に取り組む人材を育成	

1. グリーンエネルギー分野

- ①EfW世界NO.1を目指して
- ②再生可能エネルギーへの取組み
- ③環境負荷の低いGTLプラント用リアクター

2. 社会インフラ整備と防災分野

- ①震災対応への取組み
- ②防災分野への取組み

3. 海外市場への取組み

4. 「Hitz Vision」計数計画

1. グリーンエネルギー分野①

①EfW世界NO.1を目指して(1)

EfW : Energy from Waste

■国内ごみ焼却施設

国内上期受注大口案件

<新設工事> 3件

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| ①東京都杉並区 | 建替工事(600t/日(300t/日×2)) |
| ②村上市 | 建設工事(94t/日(47t/日×2))
+長期運営20年 |
| ③萩・長門清掃
一部事務組合 | 建設工事(104t/日(52t/日×2))
+長期運営20年 |

<延命・改修> 5件

- | | |
|--------------|----------|
| ①千葉県松戸市 | ④秋田県潟上市 |
| ②秩父広域組合(埼玉県) | ⑤三重県いなべ市 |
| ③可茂広域組合(岐阜県) | |

<長期運営> 2件

- | | |
|----------------------|---------|
| ①中・北空知廃棄物処理広域連合(北海道) | 長期運営15年 |
| ②愛知県豊田市 | 長期運営5年 |

1. グリーンエネルギー分野①

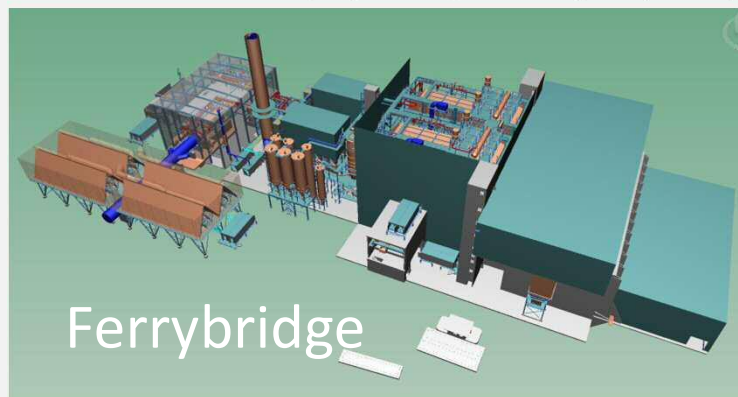
①EfW世界NO.1を目指して(2)

EfW : Energy from Waste

■EfW世界NO.1

海外上期受注大口案件

- ・ベトナム (Hitz) 産業廃棄物発電施設実証事業
(ベトナム初の産業廃棄物焼却炉および発電設備)
- ・イギリス (Inova) Ferrybridge 都市ごみ焼却発電プラント
建設工事(2,026t/日(1,013t/日×2))
- ・スイス (Inova) Luzern 都市ごみ焼却発電プラント
建設工事(600t/日(300t/日×2))



- ・**インド**現地法人に環境事業専門ハイデラバード支店開設 ...案件取組中
- ・多数地域でFSを実施 (ベトナム、ブラジル、インドネシア、マレーシア)
- ・海外の有力プロジェクトへの対応

1. グリーンエネルギー分野②

②再生可能エネルギーへの取組み(1)

☆固定価格買取制度(FIT)を追い風にした取組み

■洋上風力発電 「地域振興型アクア・ウィンド事業化研究会」設立
(株)東芝、JFEスチール(株)、住友電気工業(株)、
東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、日本気象協会

- ①着床式洋上風力発電事業に関する事業提案
- ②浮体式洋上風力発電の技術開発と実証試験

■陸上風力発電

- ・ユーラスヒッツ北野沢クリフ
- ・更なる事業計画中

■メガソーラ

- ・事業化計画中

■バイオマス発電のFS

- ・未利用材燃料の事業をFS
- ・ごみ焼却施設の売電をFS



1. グリーンエネルギー分野②

②再生可能エネルギーへの取組み(2)

☆開発力を高める取組み

■制御機器センター

電子制御機器の実証試験施設

太陽光発電設備と風力発電設備を用いたマイクログリッドシステムの実証実験が可能に。

(工場セキュリティシステム、デジタルサイネージなどの製品群も当センターでカバー)



■精密機械センター

太陽電池製造設備に関する最新鋭機器を設置

(有機EL、液晶、食品・医薬、フィルム・シート成形などの製品群も当センターでカバー)



1. グリーンエネルギー分野③

③環境負荷の小さいGTLプラント用リアクター

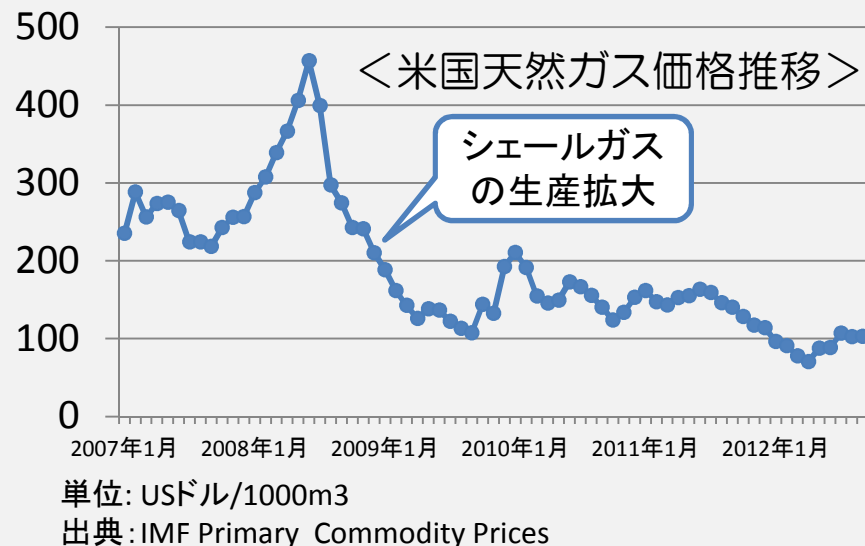
☆環境負荷の小さいGTLプラントが増加している

■GTLプラント用リアクター

GTL: Gas To Liquid 天然ガスを原料に石油製品を製造
硫黄分や芳香族分を含まず環境負荷が小さい

⇒ **大型**で**内部構造が複雑**なリアクターの需要(実績重視の傾向)

米国ではシェールガスによりガス価格低下
GTLプラントの引合増加の見込み



2. 社会インフラ整備と防災分野①

① 震災対応への取組み

■ 放射性物質で汚染された廃棄物への対応

- ・日本原子力研究開発機構の除染モデル事業実証試験
高濃度汚染廃棄物焼却のノウハウと実績の獲得
- ・汚染廃棄物の総合処理システムの開発

① 焼却システム適正技術の製品化

② 高濃度焼却灰の総合処理システムの製品化

アタカ大機の飛灰洗浄セシウム回収システムなど、他社協業を通じた総合的な灰処理システムの構築

■ 放射線検査

ベルトコンベア式放射線検査装置

「アスカHTX-100」

(株)テクノエックスと共同開発

- ・**短時間**で放射性セシウム濃度を検査
(米袋30kg 1袋あたり15秒)
 - ・**高精度で安定**した測定
 - ・**小型・軽量**で移動が容易
- ⇒魚や果物への応用を計画



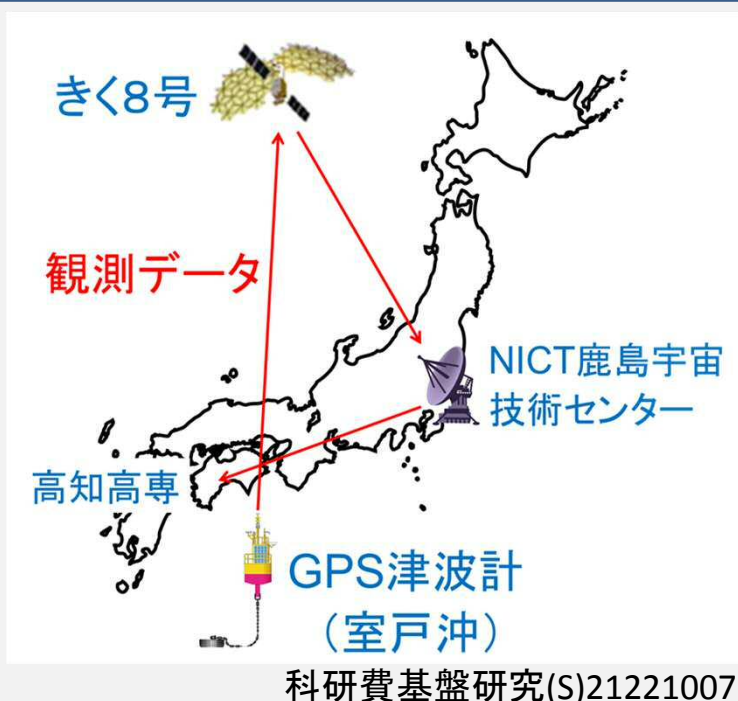
2. 社会インフラ整備と防災分野②

②防災分野

■GPSシステム

- ・通信衛星「きく8号」を用いたGPS津波計からデータ伝送実験
 - ①さらなる沖合展開
 - ②通信網の寸断への対策

日立造船株式会社
情報通信研究機構
JAXA
東京大学地震研究所
高知工業高等専門学校



- ・測位の距離制限を解消する新解析方法 (PPP-AR) の実証実験
- ・GPS連続観測システムの受信装置更新等 (約1,000カ所の工事を一括受注)

2. 社会インフラ整備と防災分野②

②防災分野

■フラップゲート

安全性のアピールがキーファクター：実証実験、公的技術認証

①海底設置型 ...静岡県の新焼津漁港で実証実験中

中間とりまとめ公表
以下問題ないことを確認

- ①動作の確実性
- ②平時安定性
- ③保守管理の確実性
・安全性



②陸上設置型 (Neo Rise)

- ・公的技術認証の申請
- ・試験設置、今年度中の初号機受注への取組

■海外への取組

アジア地区へ、GPS波浪計・電子基準点・フラップゲートを提案

3. 海外市場への取組み(1)

海外市場への他取組み

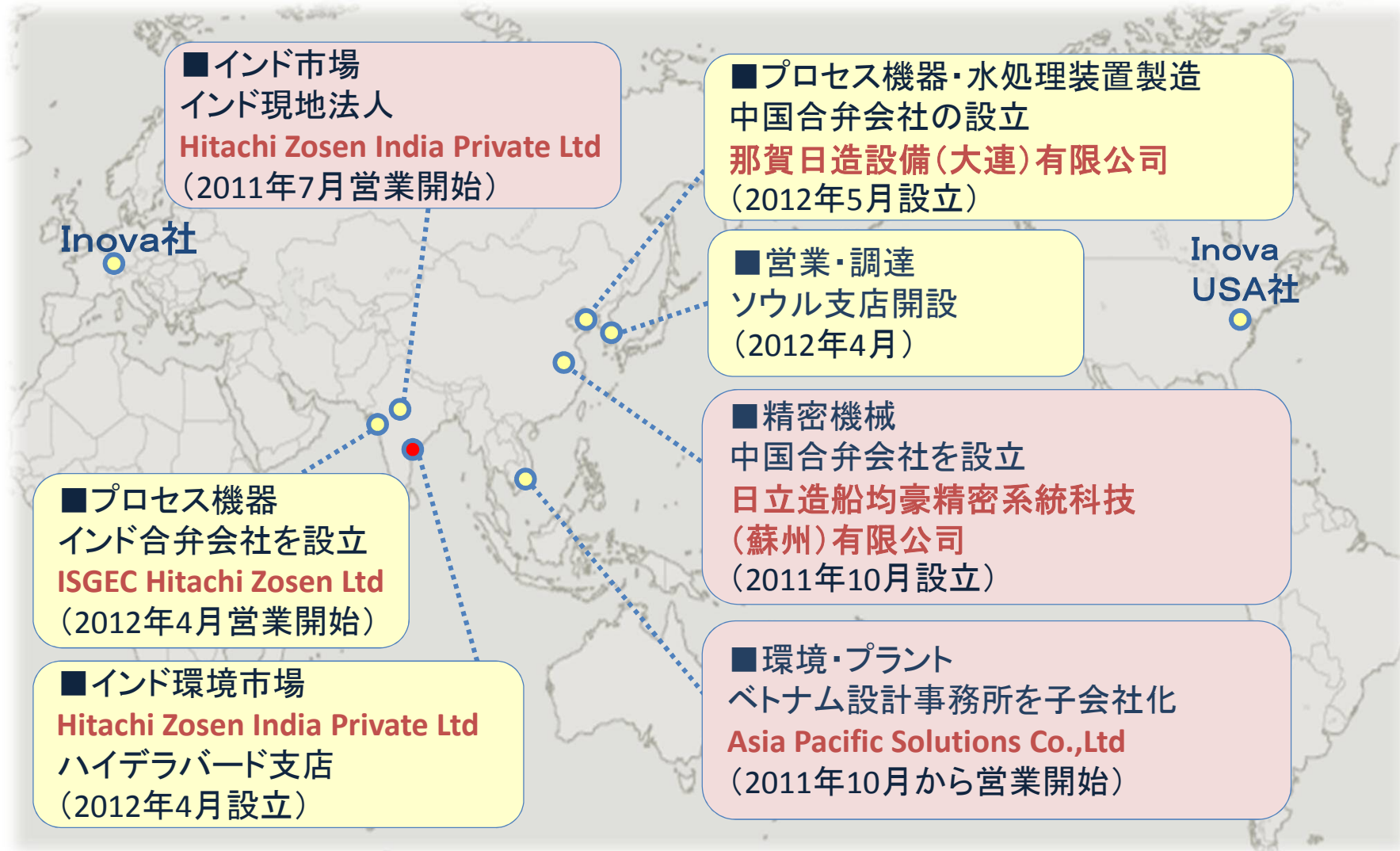
■ ISGEC Hitachi Zosen Ltd.

- ・合弁会社でのインド現地生産によるプロセス機器のコスト競争力の強化
- ・調達協業による資材購買力の強化
...現地部品メーカーの紹介、調達の代行

■ インド現地法人環境事業専門 ハイデラバード支店開設



3. 海外市場への取組み(2)



■ 中期経営計画2011年～現在までの取組

2011年度

2012年度

4. 「Hitz Vision」計数計画

(億円)

	2011年度			2012年度			2013年度
	Hitz-V 計画	実績	達成度	Hitz-V 計画	見通し	達成度	Hitz-V 計画
受注高	3,700	2,897	78.3%	4,400	4,000	90.9%	5,000
売上高	3,100	3,030	97.7%	3,400	3,200	94.1%	4,000
営業利益 (営業利益率)	140 (4.5%)	113 (3.7%)	80.7%	155 (4.6%)	128 (4.0%)	82.6%	200 (5.0%)
経常利益 (経常利益率)	130 (4.2%)	107 (3.5%)	82.3%	135 (4.0%)	110 (3.4%)	81.5%	160 (4.0%)
当期純利益	100	93	93.0%	105	90	85.7%	115
有利子負債 残高	1,144	1,076	—	1,000	1,050	—	1,000
自己資本 比率	24.2%	25.4%	—	29.1%	27.1%	—	30.0%